

## 第 31 回全日本高校・大学ダンスフェスティバル（神戸）

### B 用紙記入上の注意事項

#### 記入する前に

- ※ B 用紙の提出方法は、「参加申し込み要項」P.9(4) ④A・B用紙（15部）を参照してください。
- ※ ダウンロードした B 用紙に手書きまたは入力が必要事項を記入する。
- ※ B 用紙は **B4 サイズに拡大コピー（白黒可）し、そのうち原本となる（衣装に着色をしたもの）1部を一番上にして、計15部**をまとめ、**2つ折（記入面を表側）**にしてA用紙等と共に郵送する。

- (1) 「B 用紙記入例（参考）」及び「舞台参考資料」を参照し、内容は必ず 1枚以内にまとめること。  
表面に別の紙面を継ぎ足して利用する等は不可とする。

**B 用紙は、「作品の進行」「道具使用把握」「照明家の資料」になるので、内容は全て表面に明記すること。**

**大きい装置などを使用する場合は、15部すべての裏面に写真またはイメージ図を貼付**すること。  
判読できない小さな字、薄い字を避けること。

不備がある場合は取り扱わないので注意すること。すべて正確に記入、漏れなく明記すること。

- (2) 作品の進行に合わせて、時間経過・音・主な動きの構成・照明の関係をわかりやすく記入する。

#### イ.作品の進行時間

作品全体の進行時間を記入すること。

作品開始・終了時の装置の出し入れ時間・出演者の出入りの時間は含めない。

ただし、上演時間の計時はアナウンス終了後、すべての退場完了までであるので注意すること。

#### ロ.CDの進行時間

CDを流し始めてからの時間を記入すること。

#### ハ.音量の起伏

CDに録音された伴奏音楽が聞こえてくる起伏を記入すること。

大会当日に音響家による音量操作はいっさい行わない。

#### ニ.音・照明・動きの関係

➤.特に作品の始まり方と終わり方の様子を具体的かつ明確に記入する。

##### 始まり方の記入例

- ①「板付き→音・照明 C.I→動き始める」
- ②「板付き→動き＝照明（無音 10 秒）→音 C.I」
- ③「道具だけ板付き→音・照明 F.I→上下手袖からダンサーが出てくる」
- ④「板付き→雑踏の効果音 C.I から 5 秒かけて照明 F.I→人が動いているのが見える」

##### 終わり方の記入例

- ⑤「△分△△秒から△秒かけて照明 F.O→暗転後はける」
- ⑥「音が切れて（△分△△秒）、◎の人が振り向いたら照明 F.O」
- ⑦「◎印の人が下手奥から走りセンターで倒れる（△分△△秒）→（7 秒後）音・照明 F.O」
- ⑧「音が切れて（△分△△秒）→（5 秒後）照明 C.O→暗転後、道具・ダンサーがはける」

など

#### ホ.照明希望案

- 照明の複雑な転換や場所の指定は不可能なので、アイデアを生かしつつも、極力シンプルな案にすること。各シーンには、イメージを記入しておくことが望ましい。なお、実際の判断は照明家が行うので予め了承のこと。(※照明転換の時間は、CDの進行時間を記載する)

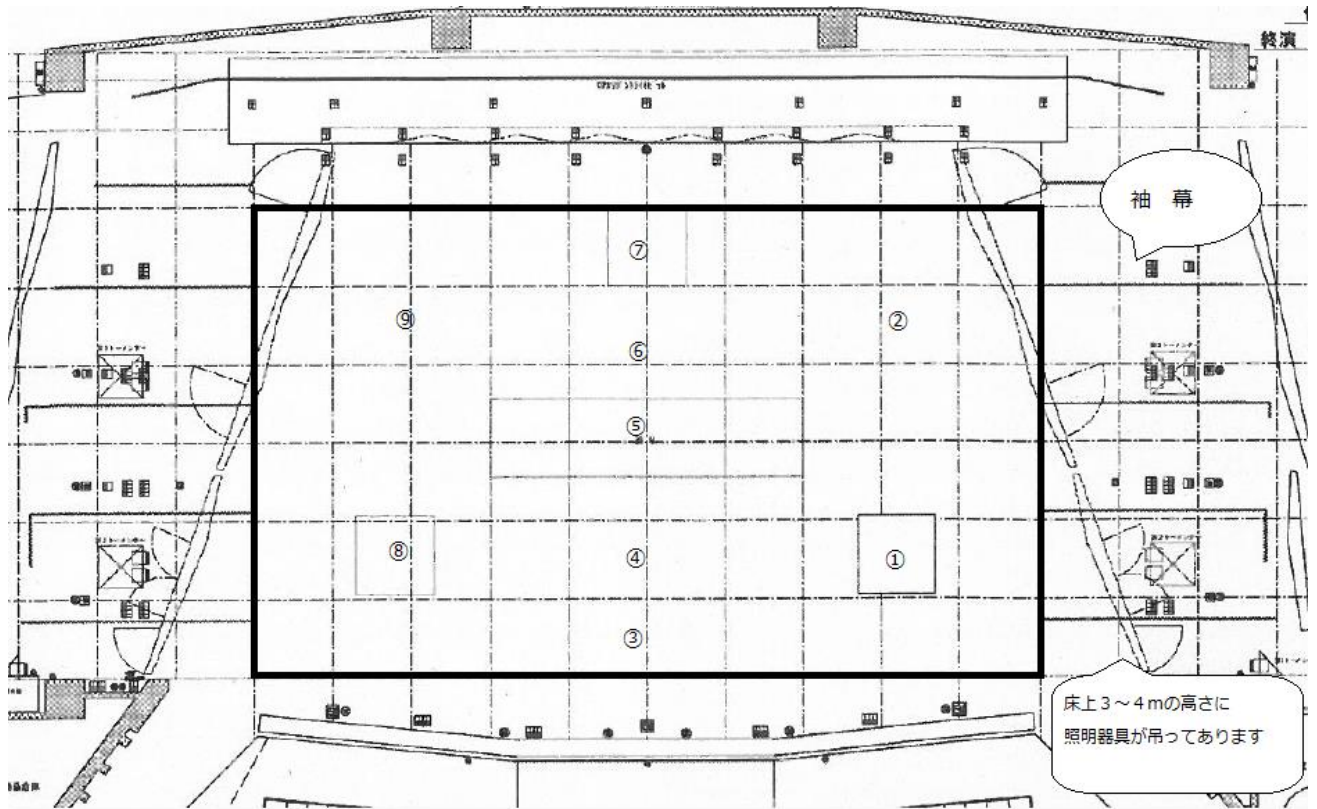
#### ヘ.構成図

- 各シーンにダンサーや道具がどのように位置しているのかを記入すること。

#### (3) 記入項目①～⑫の記入方法

- ①該当箇所を○で囲み、B用紙提出時の最新の上演順を大会 HP で参照して記入すること。
- ②学校名グループ名をもれなく記入すること。
- ③プログラム原稿・A用紙とまったく同じ題名を記入すること。
- ④上演前後の舞台への出入りを含めないで作品にかかる正味の所要時間を記入すること。  
ただし、動きが終わっても照明が残っている場合のように、照明の転換に時間を要する場合（照明の F.O 開始～暗転までの時間など）は含めること。
- ⑤プログラム原稿の人数と相違がない出演者数を記入すること。
- ⑥きっかけ出しを行う人（作品を熟知している人）の名前を記入し、該当種別を○で囲むこと。
- ⑦作品開始時の出演者の配置場所の人数を記入する。  
⑧装置(道具)を舞台上に設置して、上手にスタンバイする場合は「下手」の欄へ記入すること。
- ⑧舞台の背景を黒幕か Horizont幕から選択して○で囲むこと。
- ⑨照明の参考となる作品イメージの解説、希望する全体的な照明イメージについて記入すること。
- ⑩衣装・靴・帽子などについて明示すること。(要着色。素材や色の名称も記入)
- ⑪使用する装置・小道具等について、その大きさ、数量、材質、使用方法を明記すること。帽子や衣装なども作品途中でダンサーの体から離れる場合は道具の扱いとなるので、参加要項の仕様規定を確認すること。なお、幅 50cm 以上または高さ 150cm 以上の装置などを使用する場合は、写真またはイメージ図をB用紙裏面 15 部すべて貼付すること。
- ⑫連絡責任者の氏名および必ず連絡がつく電話番号を記入する。また、当日の緊急連絡に対応できる、携帯電話の番号とメールアドレスを必ず明記すること。

## 舞台参考資料（大ホール舞台平面図）



### I 上図は「大ホール」の平面図である。

ダンススペースは上図の太い線で囲まれた範囲 間口9.5間（約17m）奥行6間（約11m）となる。  
図中の細い線の枠は、1マスが1間×1間（1.8m×1.8m）である。

### II 袖幕（舞台の左右にある黒い幕）は幅が広い（約6mある）のでダンサーや装置・小道具の出入りには時間がかかることを考慮すること。

### III 円形サスペンションスポット（エリアを限定する上からの強いスポットライト）は、上図の①～⑨の位置に用意してあるので、必要に応じてB用紙に番号で記入すること。

なおこのスポットの直径は、4m弱（10人から15人集まることが可能）である。

### IV 円形サスペンションスポットについて、①～⑨の位置以外の場所、方向、または大きさの小さいものを希望する場合は、①～⑨の位置を基準にして図示すること。但しこの場合、必ずしもその通りにいかない場合がある。

### V B用紙の「ロ.照明希望案」を記入する際には、単に赤や青と指定する以外に、「このようなイメージ」など、イメージを主体に記入すると照明デザインのために有効な助けとなる。